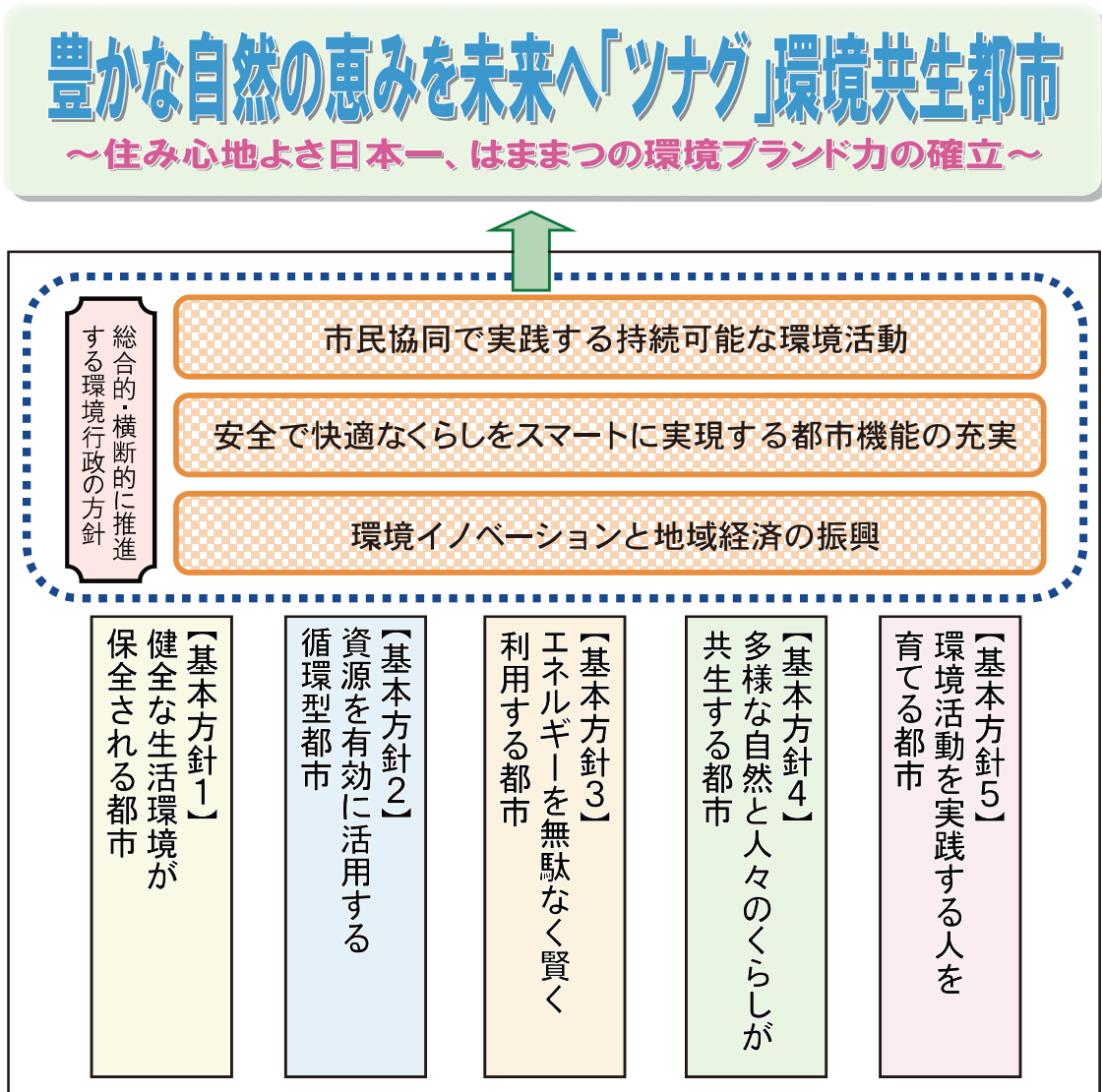


第3章 環境の将来像を達成するための方針

本章では、第2章で整理した本市の現状と課題を踏まえ、30年後における環境の将来像を達成するため、健全な生活環境を前提として、家庭・事業所から排出されるごみの減量と資源化、地球温暖化対策、豊かな自然環境や生物多様性の保全、環境教育の推進を目指し、「5つの基本方針」（健全な生活環境、循環型社会、低炭素社会、自然共生社会、環境教育）を示します。

その上で、人口減少・超高齢社会や経済状況など環境施策を取り巻く新たな課題を踏まえ、5つの基本方針を基に「市民協働」、「都市機能の充実」、「地域経済の振興」という3つの視点で整理し「総合的・横断的に推進する環境行政の方針」を示します。

図表 3-1 環境の将来像を達成するための方針



3.1. 基本方針

3.1.1. 健全な生活環境が保全される都市

市民の健康や生活環境に影響を及ぼす大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下、騒音、悪臭、振動などの公害の防止と、生活に潤いや安らぎを与えてくれる浜松市音・かおり・光資源などの保全を通して、健全で快適な生活環境の創造に取り組みます。

3.1.2. 資源を有効に活用する循環型都市

分別の徹底による、ごみの減量と資源化やエネルギーとしての有効活用に向けて、市民・事業者・行政が協働して取り組むことで、化石燃料の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減します。

3.1.3. エネルギーを無駄なく賢く利用する都市

省エネルギーに配慮したライフスタイル、ビジネススタイルの定着と、全国トップクラスの日照時間などの自然特性を活かした太陽光や風力、バイオマス、小水力などの再生可能エネルギーの活用を図るとともに、エネルギーマネジメントシステムの導入を進めることで、エネルギーを無駄なく賢く利用する低炭素都市を目指します。

3.1.4. 多様な自然と人々の暮らしが共生する都市

広大な市域に存在する豊かな自然環境やそこに生息・生育する多様な動植物と、全国でも指折りの産出額を誇る農業や天竜美林に代表される林業、遠州灘沿岸や浜名湖での漁業、輸送用機器などの製造業といった人々の様々な営みや日々の生活が調和し、共生する都市を目指します。

3.1.5. 環境活動を実践する人を育てる都市

地域の様々な環境資源を活用した実体験の活動を充実させ、すべての年代の人が日常生活の中で自らの問題として環境の保全に取り組むきっかけをつくるとともに、防災や健康福祉、国際協力、まちづくりなどの分野と幅広く連携を図り、総合的に推進することで、生涯にわたる環境教育を目指します。

3.2. 総合的・横断的視点で推進する環境行政の方針

3.2.1. 市民協働で実践する持続可能な環境活動

市民の日常生活では、環境に配慮したライフスタイルが定着し、地域においては、市民・NPO・事業者など多様な主体やあらゆる世代の行動・参画・協働により、ごみの減量や資源化、省エネルギー、自然環境の保全などの環境活動が活発に行われ、都市の発展と環境の保全及び創造が両立する持続可能な都市を目指します。

3.2.2. 安全で快適な暮らしをスマートに実現する都市機能の充実¹

本格的な人口減少・超高齢社会の到来を見据え、拠点ネットワーク型都市構造の構築を図る必要があります。

その中で、市域全体で環境負荷を低減するために、居住・都市機能を集約し、徒歩・自転車・公共交通を中心に考えた交通ネットワークの形成、地域特性に応じてエネルギー需給を総合的にマネジメントするスマートシティ化を推進していきます。

これらの政策を通じて、子供から高齢者まで誰もが安全で快適な暮らしをスマートに実現する都市を目指します。

3.2.3. 環境イノベーション²と地域経済の振興

地域経済を取り巻く社会的、経済的な環境は大きく変化しており、地域経済の新たな柱を創出し複合的産業構造への転換を図るために、ものづくりのまちとして製造業が集積している本市の特性を活かしながら、広大な森林や浜名湖などの本市の環境資産に、産業を結びつけることで付加価値を生み出し、環境と地域経済の好循環へとつなげていきます。

また、輸送によるエネルギー消費は膨大なため、地産地消を促進することにより物流方法の見直しをすることで、輸送時にかかるCO₂の削減を図るとともに、地場産の林産物、農畜産物、水産物の消費を促進し地域経済の振興を目指します。

1 「スマートに実現する都市機能の充実」とは、居住誘導や都市機能誘導エリアを設定し、交通ネットワーク・エネルギー需給を効率的に実施すること。

2 「環境イノベーション」とは、これまでのモノ、仕組みなどに対して、まったく新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、環境と経済の持続的な好循環を生み出していくこと。